



北部の民生委員さんが、清風園のお年寄りを「観梅会」に招待（2月21日、白木谷で）

広報

3/1

3月の行事

- 6日・民族歌舞団『わらび座』公演（市民体育館、7時～）
- 9日・南国市春季バトミントン大会（市民体育館、9時～3時）
- 12日・ママさんバレー教室（市民体育館、6時30分～9時30分）
- 13日・中央高齢者教室『世の中の動き』（社会福祉センター、10時～12時、1時～閉校式）
- 19日・日本画教室（市役所第2会議室、1時～3時）
- 21日・人権行政相談（社会福祉センター、10時～3時）
- 23日・第6回南国市はし拳大会（市民体育館、1時～）……申込み（3月1日～10日まで）、おたずねは市役所内市観光協会まで。
- 24日・俳句教室『吟行』（岡豊山にて、11時～）

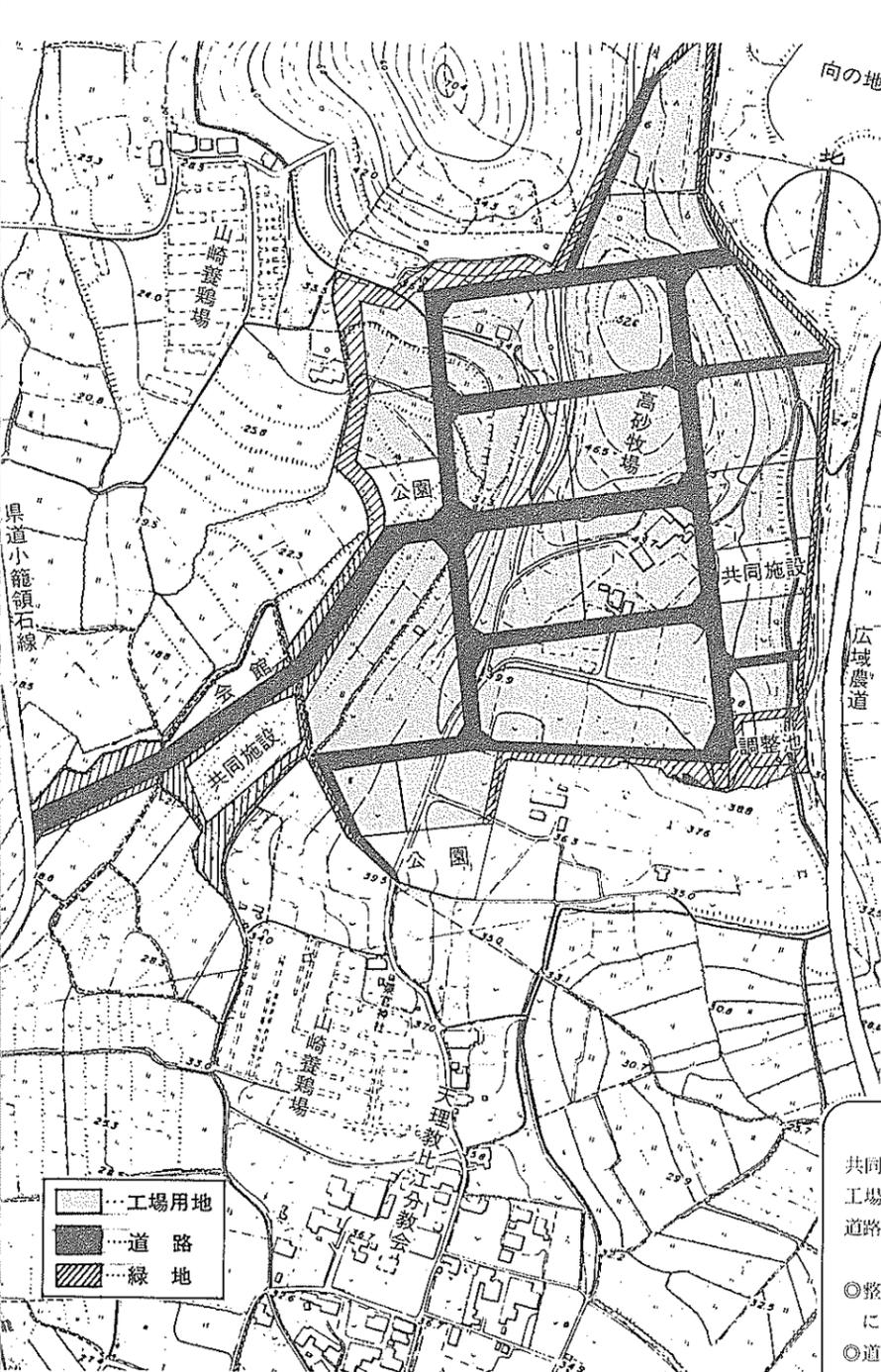
——とじておくと便利です——

なんこく

1980 No.307

市民憲章

- わたしたちの郷土南国市は、土佐文化の発祥地、そしてまた、清新な生産都市であります。この誇りのうえにたち、さらに一大飛躍発展をとげるために、次の信条を守りましょう。
- ☆文化財と自然を保護し、新しい文化のかおり高い歴史のまちを築きましょう。
- ☆青い空、清い海、緑の山野、そして豊かな太陽のふりそそぐ、健康で明るいまちにいたしましょう。
- ☆川は市民の顔、清くて豊かな流れをつくりましょう。
- ☆第三日曜日は家庭の日、全戸笑顔で子供を守り育てましょう。
- ☆老人は市民の宝、小さい親切運動と福祉の豊かなまちにいたしましょう。
- ☆三悪を追放し、交通事故のない住みよいまちにいたしましょう。



きょうの話題・あすの話題

まず木材団地に……一〇ターブル

比江山処分、臨時議会で決定



現地を視察、説明をうける市議……

財政再建のカギをにぎると言われてきた比江山処分。一月二十三日の「公有地処分に関する審議会」では、とにかく借金とその金利を早急に減少させることを第一に、その他の流動的な材料は引続き検討していくことを条件に答申していました。市長はこれを受けて、二月八日臨時議会を召集し

て、約一〇分の土地を木材団地へ売却することを提案しました。議会運営委員会の報告は、すでに本会議や審議会で審議されたので、会期は一日とし、①提案②現地視察③質疑④議員総会⑤採択の順で行うことが報告、承認されました。市長の提案理由説明のあと、現地へ出向いて木材団地の概要などについて説明を聞きました。

午後からは、吉本助役からの提案理由の補足説明で再開。

■県が開発許可をする条件として
①地元の同意が得られること。
②農地の転用が許可されること。
③団地へ売却することを目的として市が造成すること、が定められているので、議決後開発許可を申請造成後に売却したいと説明。

質疑では――

■当初は坪四万円で売却の計画だったが最終的に三万円になった。

この経過説明を……

■市の再建を考えながら、団地、県、市が総合的に話し合ってきた結果が三万円になったということ、たしかに価格の変動は何回もありました。

■市が土地造成をするメリットは何ですか。

■市が造成すると、それに対する補助金が交付されますので、これを地元へ還元できることです。

■売却代金はいつ入るのですか。

■未定で、契約書も交換していません。とにかく一〇分を九億円で売却する議決をお願いします。

■造成費の内訳はどうなっているのでしょうか。造成の費用が計画の四億三千万円を越えた場合は、どこが負担するのですか。

■木材団地に負担していただく予定です。

■残った市有地は一日も早く、しかも高い価格で県に買い上げてもらうべきだ。市がもっと強腰で少しでも高く売却できるように、比江山で市全体の借金を払う位の気概をもって県と話し合うべきだ。

■売却は基本的には時価でという考え方でありますが、お説のような方向で努力してまいります。

■市の財産を処分するのだから「買書」や「仮契約書」が添付され、議案として提出されるべきであり、問題が起きた場合の責任の所在が明確にされておらず議決の判断材料がない。

■県が間に入ってきているので、市が大きな損失を負うことは心配していません。とにかく処分してよろしいという議決を得てからでないかと思っております。細かいことは、再度議決をいただくという二

役構えの方法をとりました。

■いわば高知市の公害を南門市が引きうけたと言えそうだが、公害対策はたいじょうぶですか。企業との覚書はつきりと交す必要があると思うが。

■団地は最新設備をすると言っていますし、公害のないよう努力します。

■比江山を処分することで買取代金プラス金利で実損がないように県との約束ができていますか。

■文書は交していますが、知事が言明してくれているので信用しています。

■地元の要望は全部満たすことができますか。

■地元対策は万全の努力をします。

■県立都市(歴史)公園については、県はこれから検討を始めると言っている。そうなるを買取、実現までかなりの時日が必要だと思いが、早急な具体策が必要ではないか。

■県には五十五年度に予算化してもらおうよう、みなさんのお力も借りて努力したいと思っています。

■一〇分の代金が支払われる時期をはっきりさせ、すぐにも赤字解消に役立てるべきで、残地処分も今後さらに検討すべきであると思うが。

■できるだけ早く代金が貰えるよう県に働きかけます。今ここのでい

つかはお約束できかねます。

■市長の答弁では、県が間に入っているから大丈夫というふうな安易な口ぶりであるが、自主性を持つべきではないか。

■県にたよりっぱなしではありませぬ。木材団地は県政の念願事項でもあるので、協議を重ねているところでありませぬ。

質疑が終了した後、よりくわしい点を話し合うための「議員総会」がもたれましたが、その中で主な意見は「代金がいつ支払われるかを煮つめていないのでは議決できかねる」と、再開後、市長から発言を求め、「九億円の代金は、契約時に五億円、開発許可後実測面積を確定した時点で残金四億円を

受け取るという条件でこれから木材団地と折衝する」ということで、委員会付託を省略し、採決の結果、全員起立で、木材団地がやっと実現することになりました。

残地六割がいつ、どれ位で県に買取られるのか、地元対策の充実など、執行部の苦勞はまだまだ続きそうです。

木材団地利用計画(案)

- 共同施設(会館、駐車場など) 1.6
 - 工場用地 5.2
 - 道路、公園、緑地、排水路 3.2
- (単位:ha)

- ◎整地:現在の標高50~28を35にします。
- ◎道路:団地への進入路は12m、団地内は9m幅とする。
- ◎排水:浄化槽を設け、降雨時には専用排水路で国分川へ。
- ◎公害:地元と防止協定を結んで万全を期す。

(騒音=昼間55以下を確保。大気=集じん機に微粒子粉じん除去装置を設置する。汚水=塗料や顔料などは各工場で沈殿、吸着処理をして基準以下として放流する。)

収支計算書(案)

支出(千円)		収入(千円)	
(1) 造成工事費	430,000	(1) 新地売却額(3ha×3万)	900,000
(2) 残地造成費	220,000	(2) 造成工事費	430,000
(3) 用地取得費	1,400,000	(3) 飛地処分金(2畝×1千)	200,000
(4) 進入路買収費他	70,000	(4) 造成残地処分金(4ha×7千)	840,000
(5) 地元対策費	166,000		
(6) 利息等	84,000		
合計	2,370,000	合計	2,370,000



武市安哉のこと

一月二十四日、北海道の浦臼小学校と大森小学校とが姉妹校の縁むすびをしましたが、今回は、その「原因」となった「武市安哉」
 大森住吉野出身の横顔をこ紹介
 します。

武市安哉は一口にいうと、農民のために一生を捧げた人といえそうですが、その言動は、身長百七十五センチ、体重八十六キログラムに似ず、

まじめで「ぼくとつ」だったそうです。そこがまた人に好かれて、死後その価値が高まったことも容易に想像できます。

私たちの身近かにこんな「立派な先人」がいたことは、あまり知られていないようです。よい先輩をもったことを誇りにして、毎日の生活の参考にしたいものです。

物事を誠実に処理。

○明治七年

立志社設立される。

○明治九年

長岡郡を二分する大区の長となる。

○明治十二年

県議会開設、推されて議員となる。二十五年まで議員。(議長一回、副議長三回)

○明治十四年

自由党結成と同時に入党。

○明治十八年 三十八歳

キリスト教の洗礼を受ける。断酒するとともに、家族や周囲を伝道、受洗をすすめ、講演活動を続ける。

○明治二十年

地租軽減、言論、集会の自由などを国に要求したが、保安条例に

○弘化四年(一八四七年)

住吉野に生れる。家は代々農業で、同部落で私塾を開いていた医師、国沢文斎に漢字を学んだ。一家は父母に弟の四人で、三町余りの農地を有した。

十五歳の時、本家武市熊次を相続。農業を営みながら、明治維新という激動の時を経験したことが安哉のその後の進路を大きく変えたようです。

二十歳の頃すでに長男をもち、家長となっていたが、謫居に熱中し始めて、勉学のため上阪、上京までするようになる。

○明治五年 二十五歳

学制が施かれ、大徳寺本堂に大森小学校が創立、教師となる。

農民の相談をうけながら、農民の生活を少しでも高めるために、

ふれ、軽禁固二年六カ月の刑で投獄される。(県内で二十一人)

○明治二十二年

大赦により出獄、郷里へ……。

推されて再び県議会議員に。

○明治二十三年

第一回国會議員選挙。前年から経済恐慌で社会情勢不安定。

○明治二十五年

総選挙に自由党から立候補。周囲の青年たちの活躍で多くの闘争、犠牲を経て当選、上京。人々の負担を軽くし、暮しより民主的な社会をつくるためにせいっぱい働いたが、この頃議会で失望したも

よう。家族の協力で伝道活動を続ける。ばく然と農民の生活上のために北海道への移住を考えはじめる。十月、視察のため小樽へ。

クラーク博士の影響で、自由清新

な気風や広大な未開の石狩平野に魅せられて、キリスト教精神による理想的な新農村の建設を目標に、移住の決意を固める。現地検討の結果、移住先を浦臼と決定。

○明治二十六年

国會議員を辞職、大きな話題となる。第一次移住者二十七人(うち女二人、子供四人が含まれる)が入植。本山、土佐山の人が多い。悪環境のなかを必要に開墾、マラリヤなどに苦しむ。

この時の部落の約束とは、①どんなに忙しくても日曜日は仕事を休み、礼拝に出席すること。②酒の売買、飲酒を固く禁ずること。③六年後の村制実施まで、いわゆる「話し合い」によりすべてが処理された。

○明治二十七年

第二次移住者到着。(うち二十一人が学齡児童) 開墾、播種、小屋づくり、井戸掘りなど。五月、学校竣工。聖園学校のものとなる。(明治三十年、文部省より公認)

恵まれた自然環境で学習にはげむ。十二月二日、函館行きの連絡船内で脳溢血にて急死、四十七歳。安哉が生命をかけた「村づくり」は中絶し、聖園は試練にあうが、彼自身の存在価値はかえって高くなった。後継者は娘婿の土居勝郎。

○明治二十八年

第三次入植。四百人を数えたが、この時も嶺北出身者が多かった。水稲をはじめて収穫する。

○明治二十九年

百三十四戸が入植、開墾は北方へ伸びる。

○明治三十年

新会堂が落成。上部の承認を経て、公式に聖園教会となる。坂本直寛が指導者に。

坂本は、十七歳で坂本龍馬の兄の養子となり、のち立志社に入り、明治十八年受洗した。同二十年、保安条例にふれ入獄、同三十七年、伝道教師となった。

(なお、このご紹介は、ある自由民権運動者の生涯「高知真文教協会刊のなかから掲載させていたいただきました。)

国民
年金

保険料が四月から引上げ

月額三千七百七十円に

国民年金の保険料が、今年四月から、一月三千七百七十円（現行三千三百円）に引上げられます。ご存じとは思いますが、国民年金は毎年、物価の上昇に見合う引上げが行われています。そのうえ、新しく年金を受けはじめる人が、全国で毎月二万二、三千人づつ増えています。そのため、年金の支払いに要する費用が大幅に増加し、保険料の引上げをしなければなら

【市民課年金係】

児童扶養手当を

受けていますか

（児童扶養手当の対象となる児童）

- 父母が離婚した児童
- 父が死亡した児童
- 父が重度の廃疾状態にある児童
- 父の生死が明らかでない児童
- 父から引き続き一年以上遺棄されている児童
- 父が引き続き一年以上拘禁されている児童
- 婚姻によらないで生れた児童

【福祉事務所社会係】

交通事故を防ぐために家庭で『交通安全のための一声』をかけあいましょう。



民族歌謡団「わらび座」の南国公演が、三月六日（木）午後七時から市民体育館で行われます。プログラムは、第一部歌舞構成詩「佐渡に立つ波」、第二部民族歌謡集「高なれ結び歌」。料金は、一般二千円、高校生千五百円、小学生千円（以上前売り）です。主催・南国わらび座をみる会、後援・南国市ほか。

参加してみては

＝55年度中央公民館事業＝

昭和55年度の中央公民館事業です。あなたも参加してみてはいかがでしょうか。

費用は、無料または材料費を個人負担。

また、定員のある教室、講座

は定員になり次第締切りますので、希望者は早めに申込みをしてください。

申込みや内容などについてのくわしいことは、中央公民館

④3498でおたずねください。

事業名	日程	内容	場所	講師	定員	開講月
焼物教室	毎週木曜、月4回 午後7:00～9:00	陶芸	中央公民館	潮田 文明	80名	4月
盆栽教室	月2回日曜 午前10:00～12:00	松、菊、花木等	〃	山本 好和	30名	4月
手品教室	毎日曜日(4回) 午前10:00～12:00	家庭で楽しめる手品	〃	寺川 雅元	30名	5月
ヨガ入門講座	毎月2回第1,3月曜 午後7:00～9:00	健康づくり	〃	大塚 栄渉	30名	4月
古典文学講座	第1,3土曜 12回 午後1:30～3:00	「土佐日記」の読書会 テキスト「岩波文庫「土佐日記」	図書館	竹村 義一	20名	5月
茶道サークル	第1,3水曜 午後7:00～9:00		後免中町公民館	松木 末龟	-	
俳句サークル	第3月曜日 午後7:00～9:00	俳句会	中央公民館	森 武司	-	
民謡サークル	毎週水曜 午後7:00～9:00		〃	山崎千賀子	-	
書道教室	毎週月曜日 午後6:30～8:30		〃	坂本 正	30名	4月



南国意外史(4) 市名きわめて安産

町村合併が盛んなころから終末の「南国市」発足にかけて、四十に近い町村の合併問題を取材したが(新聞記者であったから)、南国関係の旧町村首脳や合併推進委員は進行途上の裏のこままでよく話してくれました。しかし、同じことがらが時と場所が移るごとく変っていたりし

柔道振興にと道場を新築

二月十一日に道場開き

いつでも、気軽に柔道ができるようにと、後免町に住む中村昭弘さん(33歳)四段が私財を投じて、大篠保育所の南側に柔道場を新築、南国市柔道連盟へ無償で貸与しました。

二十一日にはたぐさんの関係者が集まり模範演技やチビツ子の招待試合などで盛大に「道場開き」が行われました。



地区史「大篠」が完成

大篠地区待望の地区史「大篠」が昨年末完成、農協の組合員などに配付されました。

この「大篠」はB6判、四百ページを越す「農行本」で、その内容は村の生い立ち、地勢、気象、自治、教育、農業、風俗、文学、歴史、人物、伝説、歴史など百般を織り込んだ力作です。

「大篠」の生みの親は①上古時代からの村の歩みを記した、昭和五年刊行の「大篠村我等の郷土」で、関係者にそれ以後現在までの約半世紀を後世に残すことへの使命感を強くさせました。

②昭和四十六年の農協理事会で資金援助が約束されたことで、途中公民館の火事による資料焼失、執筆者の多忙や健康支障など中絶もあつたがようやく五十四年末の発刊にこぎつけたもので、編集委員は元村長の岩村元治氏ら三十四名で、農協の組合員らに約七百五十冊が配付されています。

近年都市化が最もはげしい「大篠地区」だけに、今では二千六百戸の世帯があります。むらに住む人、むらをふるさととする人、あつてむら人となつた多くの人々や南国市にとつても貴重な、価値あるものになります。

製作関係者のみなさん、ほんとうにごくろうさんでした。

なお、購読ご希望の方は、市農協大篠支所で、一冊五百円で入手できますのでおしらせします。

おたすねは☎4131まで。



ご家庭で話し合つて答えてください。答えはこの広報に出ています。

●もんだい。○月○日の臨時議会で、比江山の約一〇分の土地の売却が決まりました。

●しめきり。三月十五日(土)おくり先。〒783 南国市大地中2301 南国市役所内広報委員会 親子クイズ係

●答えのハガキには必ず、住所・氏名・年齢・職業を書いてください。

●賞品。特賞千円。三人。残念賞(記念品)五人

第10回学校訪問

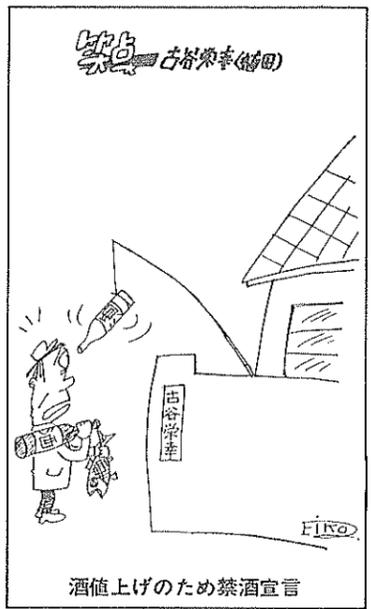
キャラバン隊

豊かでたくましい子供に——との願いをこめて毎年行われている市子供会連合会主催の「学校訪問キャラバン隊」も、今年で十回目。今年も二月二十一日、南部と北部コースに分かれ、二つのキャラバン隊が市内十三小学校を回り、人形劇や記念樹をプレゼントしました。

連合会の父母らで上演された今回の人形劇は「オサムとなまけ悪魔」で、勉強きらいのオサムが昔の時代に行き、勉強することの大切さやこれまでの幸わせな毎日の生活を改めて知る、というスジ。「おまたちのなかで一番のなまけ者は誰だ。今夜訪ねていくから

待っておれ」との悪魔の最後の言葉には、見ている子供たちもドッキリ。

また、隣の小学校の児童代表によるメッセージの発表など、各校の交流を深める楽しい一日となりました。



市内保育所の園児の作品を集めた「幼児画展」が、二月十六日から十八日までの三日間、後免町公民館で開かれました。

この幼児画展は、南国市保育会などが主催で毎年開かれているもので、今年には市内の保育所、幼稚園八園の一歳から五歳までの作品約二百点が出品され、子供や孫の力作をひと目見ようと、おかあさんやおばあさんなど三日間でのべ三百人がおとずれ、園児のかわいらしい絵や紙細工を見て目を細めていました。

- 第10回正解者発表
- こたえ。○期目でした。
 - 特賞・千円。三人
 - 本川光子さん(岡豊町小連)
 - 平田耐代さん(大地)
 - 竹内 春さん(里改田)
 - 残念賞(記念品)五人
 - 豊永美里(外山)水田二男(久礼田) 藤森義雄(東崎) 岡崎光子(定林寺) 関田幸子(後免町)
 - 第10回正解者発表
 - こたえ。○百人でした。
 - 特賞・千円。三人
 - 黒岩敬一郎さん(立田)
 - 北岡輝恵さん(大地)
 - 野村久乃さん(大地)
 - 残念賞(記念品)五人
 - 浜田律子(片山) 前田茂子(東崎) 和田清(物部) 伊藤勝(東崎) 杉内洋明(前野)

断続乃雲の行方と身の幸越
今朝も追ひ居り書乃窓に
下野田 竹村虎治

温泉の風を料亭にひきまゐし
叔父に潤ひき六十十年前は
八幡岩村とよき

凍りける野面を渡り聞へくる
御寺の鐘の目覚よとこく
三畠小笠原綾子

吹きすさぶ木枯風も素知らずや
満開美はなつ内縁の黄花
立田 清岡照子

ねむる間は女らぎならむ手も足も
揺られし徒姉を呼び醒まし得ず
笠ノ川 葛目治子

雪深く残れる野辺の其処かしこ
青きが見ゆる春立ち初めて
亀岩 島本 栄

強いられる返事火鉢の灰を掻き
常通寺島 橋田井波

船来の風邪を大事にせよと言ひ
古市 長野福美

空を飛びオタマジャクシが
春の使者、後免町 隈田俊作

入院の大部屋賑は日目の暮るる
立田 北村幸江

寒館の目玉きよりと竹られる
本馬道天に登りて雪が降る
立春や髪を切りたき思いあり
土の香の匂ひうれしく春山打つ
土手焼けば小石転がり落ちるなり
ふと小窓開けそのまの春隣り
今日も在る空地秋風十重廿重
秋満開男子生れし便り受く
薬塚が立ついざなみ氏いざなぎ氏

- 第10回正解者発表
- こたえ。○期目でした。
 - 特賞・千円。三人
 - 本川光子さん(岡豊町小連)
 - 平田耐代さん(大地)
 - 竹内 春さん(里改田)
 - 残念賞(記念品)五人
 - 豊永美里(外山) 水田二男(久礼田) 藤森義雄(東崎) 岡崎光子(定林寺) 関田幸子(後免町)
 - 第10回正解者発表
 - こたえ。○百人でした。
 - 特賞・千円。三人
 - 黒岩敬一郎さん(立田)
 - 北岡輝恵さん(大地)
 - 野村久乃さん(大地)
 - 残念賞(記念品)五人
 - 浜田律子(片山) 前田茂子(東崎) 和田清(物部) 伊藤勝(東崎) 杉内洋明(前野)

日	衛生行事	日	衛生行事
1(土)	不燃物の収集(田村)	15(土)	不燃物の収集(宇田、東崎東部、西部、中部、祈年)
②(日)	休日在宅医・谷医院(片山)⑤-8335	⑬(日)	休日在宅医・市原内科小児科(大埴)③-3915
3(月)	乳幼児相談・歯科相談・1:00~4:00 市役所3階保健室、医務室(後免、野田、大篠地区) 不燃物の収集(十市南部)	17(月)	不燃物の収集(野田)
4(火)	不燃物の収集(里改田、片山)	18(火)	不燃物の収集・後免(東町、横町、中町、中ノ丁、東芝住宅)
5(水)	健康相談・1:00~2:00 南部福祉館 家庭看護実習・1:00~2:30 稲吉公民館 健康相談・2:30~4:00 稲吉公民館 不燃物の収集(浜改田) 金属類の収集・野田、後免、長岡	19(水)	愛の献血・9:30~11:30 南国自動車工業 1:30~3:30 市農協日章支所 不燃物の収集・後免(西町、栄町) 金属類の収集・十市、三和、前浜、下島、久枝、立田、田村
6(木)	乳児相談・1:30~3:30 植野公民館 不燃物の収集(前浜、下島、久枝)	⑳(木)	休日在宅医・岡豊病院(岡豊町小蓮) 0888-⑥-2345 不燃物の集集(陣山、三島、上末松、下末松、西山、上甘枝、西島、古市)
7(金)	乳児検診・1:30~2:00 稲生地区公民館 (生後2カ月~1年3カ月) 機能訓練相談・1:00~4:00 市役所3階医務室 不燃物の収集(立田)	21(金)	健康相談・9:30~11:30 前浜中組公民館 不燃物の収集(1区~8区、南小籠、北小籠、祈年団地)
8(土)	不燃物の収集(篠原、明見)	22(土)	不燃物の収集(瓶岩、上倉)
⑨(日)	休日在宅医・秦泉寺内科(大埴)③-3928	⑳(日)	休日在宅医・山本内科(東崎)④-2575
10(月)	不用犬の買上げ・9:30~10:00 市立図書館前 不燃物の収集(物部)	24(月)	不燃物の収集(国府、岩村)
11(火)	乳児検診・1:30~2:00 三和地区公民館 (生後2カ月~1年) 健康相談・1:30~3:30 植田公民館 不燃物の収集(稲生)	25(火)	破傷風予防接種(2回目)・2:30~3:30 農協病院 不燃物の収集(笠ノ川、八幡、小蓮、定林寺、滝本、蒲原)
12(水)	乳児検診・1:30~2:00 十市地区公民館 (生後2カ月~1年3カ月) 不燃物の収集(能間、野田口、城陸、榎田町、朝日町) 金属類の収集・国府、岩村、岡豊、久礼田、瓶岩、上倉	26(水)	破傷風予防接種(2回目)・2:30~3:30 農協病院 不燃物の収集(中島、常通寺島、江村、小籠、三軒家) 金属類の収集・物部、稲生、大篠
13(木)	健康相談・9:00~11:00 前浜里組公民館 麻しん(はしか)の予防接種・個人通知者のみ 不燃物の収集(稲吉、西窪、新川、鈴江)	27(木)	不燃物の収集(植田、久礼田)
14(金)	乳児検診・1:30~2:00 南部福祉館 (生後2カ月~1年2カ月) 麻しん(はしか)の予防接種・個人通知者のみ 不燃物の収集(山崎、八木、田井、関、竹中、西野々、住吉野、伊達野、南海学園)	28(金)	不燃物の収集(植野、領石)
		29(土)	不燃物の収集(十市北部)
		⑳(日)	休日在宅医・藤原病院(大埴)③-0001
		31(月)	

火事が多発しています。油断大敵、「火の用心」。

南国市役所…… ☎783南国市大埴甲2301 ☎3-2111(代)

領石支所 ☎2-0020 岡豊支所 ☎4-2423 三和支所 ☎5-8332 十市支所 ☎5-8401
水道局 ☎3-1234 市民体育館 ☎4-3498